

授業科目 精神保健学演習	科目概要・形式 2単位 60時間	配当年次 1年 後期
科目責任者	大山博史	
担当者	大山博史、坂下智恵、石田賢哉	
1. 科目のねらい・目標 精神保健に関する諸問題のリスクや介入等について、課題を明らかにし、その研究方法を検討する。エビデンス・ベースト・プラクティスの立場から関連する国内外の学術文献に対する考察を行う。		
2. 授業計画・内容 次のテーマに沿って、毎回、英語学術論文を中心に議論する。 第1～3回 根拠に基づくメンタルヘルス 第4～6回 地域におけるメンタルヘルスの課題 第7～9回 職域におけるメンタルヘルスの課題 第10～12回 学校におけるメンタルヘルスの課題 第13～15回 老年期におけるメンタルヘルスの実際 第16～18回 壮年期におけるメンタルヘルスの実際 第19～21回 青年期におけるメンタルヘルスの実際 第22～24回 学童期におけるメンタルヘルスの実際 第25～27回 乳幼児期におけるメンタルヘルスの実際 第28～30回 トピック：自殺対策の基礎と実践 なお、上記計画内容は受講生のニーズに応じて、適宜、変更することがある。		
3. 教科書、参考書 参考書 訳者 木原雅子他：「医学的研究のデザイン 第4版」、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2014年、ISBN 978-4-89592-783-3		
4. 成績評価方法 課題発表、出席状況により評価する。		
5. 受講要件 英語学術論文を読解できること。 論文に関して疫学的根拠に基づく批判的吟味が一定程度できることが望ましい。 保健・医療・福祉領域における臨床経験がある者が望ましい。		
6. 社会人学生に対する配慮		
7. その他 受講生の関心のあるテーマを取り上げて授業を進める。		